

病院長からのメッセージ

医学生のみなさんへ

宝塚市立病院は「患者の幸せを職員の幸せにつなぎ、地域から信頼される病院になる」ため日夜頑張っています。阪神北地域の基幹病院として、近隣医療機関からの紹介を広く受け入れ、一般病床 436 床で急性期医療を実践しています。私自身、集中治療が専門なので重症患者が来ると血が騒ぎます。2020 年からはコロナ感染症に対して、専用病棟、発熱外来、帰国者接触者外来を運営しています。トップクラスの医師とともに、多くの症例を経験し、充実した研修、ドキドキの毎日を送りませんか？

われわれの病院の特徴をいくつか列挙します。

1) 一貫した救急医療

2015 年に救急医療センターを開設し、救急車受け入れが最高年間約 5,000 例まで増えました。今はコロナ専用病棟として運用していますが、コロナが落ち着きけば復活させます。救急車が日中に病院に待機するワークステーションの効果で、救急隊と「ホットな連携」ができています。院長ら幹部が「開業医ホットライン」を担当し、近隣医療機関からの紹介を迅速に受け入れています。

2) 充実したがん診療

地域の癌診療を担うため、2018 年にがんセンターを開設しました。西日本で初となる放射線治療、トモセラピーでガンを狙い撃ち、ゆったりとした化学療法センターで最新鋭の治療を行っています。がんと診断された時から、市民生活を支えつつ、手術、放射線治療、化学療法の 3 本柱で高度ながん診療を提供します。

3) 優れた内視鏡技術

消化器内視鏡センターでは数多くの内視鏡検査・治療を行っています。特殊な内視鏡処置、CT とエコー画像をリンクさせる技術など、優れた技術レベルを誇ります。

4) 国内有数の緩和医療チーム

最終的に進行がんと生きることになった患者さんに対して、先進的な緩和ケア病棟にて、疼痛や不安などを和らげ日常生活を快適に過ごすお手伝いをしています。

令和 4 年 6 月

宝塚市立病院 病院長 今中 秀光